

◎エイブル・アート 2012

Life map note

2012.2.4⑤ ▶▶▶ 3.25⑤

10:30~19:30 無休・入場無料

会場／ギャラリー アートリエ 福岡市博多区下川端町3-1 博多リパレイン 地下2階

●出展作家：柳田 烈伸、久門 裕子

●映 像：泉山 朗士



文化芸術情報館

culture  artlier

○主催：(財)福岡市文化芸術振興財団、福岡市、NPO法人まる ○協力：エイブル・アート・ジャパン

 財団法人 福岡市文化芸術振興財団
FFAC Fukuoka City Foundation for Arts and Cultural Promotion

柳田 烈伸 (やなぎた たけのぶ)



1980年生まれ。福岡県在住。幼少のころから絵を描くことが好きだったことから小学生の時に本格的に絵画を習い、デッサン力を身につける。1999年より「工房まる」(福岡市南区)に所属。2005年に福岡県立美術館で開催された「工房まる」の作品展には絵画作品ではなく自らの意志でCG作品を出展。その後、絵画作品にも独自のスタイルが組み込まれ、2008年には、荒井良二氏・MAYA MAXX氏とのライブセッションに参加し、絵を描くことを本来の営みとして考えるようになる。さまざまな画材や技法を試しながら、水彩色鉛筆という現在のスタイルに辿り着き、2009年、初個展「ヒトノカタチ」を開催。絵を描くことに不便ともいわれる不随運動のある手で描いた線を軟らかく表現するのが彼の作品の特徴でもある。

久門 裕子 (ひさかど ゆうこ)



1983年福岡市生まれ。福岡県在住。筑陽学園高等学校デザイン科卒業。東京造形大学造形学部美術学科彫刻専攻卒業。2005年『ふれる彫刻展』、2006年グループ展『to:l ∞ chica』に参加。2011年『ギャラリーアトリエの公募展-PRESENT-』に入選し、個展『7ヶ月間の記録～ここに存在したことを留めておきたい』を開催。現在、ドローイングと立体作品を中心に活動を行っている。

泉山 朗士 (いずみやま ろうど)



recomemo workshop & studio 代表。1974年東京生まれ。武蔵野美術大学卒業後、現代美術作家、柳幸典に師事。2004年映像制作を主体としたrecomemo workshop & studio設立。これまで日比野克彦、藤浩志、中ハンクシゲ、小沢剛などの制作ドキュメントを制作。アートプロジェクトの企画や記録のほか企業プロモーション制作などを行っている。2008年よりSusan Norrieの映像作品撮影監督をつとめ、これまで"SHOT", "TRANSIT 2011"がEdinburgh International Festival 2009/ 横浜トリエンナーレ 2011に出展。

展覧会趣旨

今回の「Life Map」は、東北(宮城)を舞台に人と人とのアイダを描き留めた“note”を、絵画作品と映像で紹介いたします。

- 人と人にある気持ちや言葉のアイダ
- 人と場にある空間のアイダ
- 人とコトにある時間のアイダ

当然、そこにはそれぞれの差異があるから、なにかひっかかるはず。

そして、そのひっかかりに向き合う時間や距離をたどることが「Life Map」のねらいです。

- 場の中に自分の存在を実感し、必要とされていることを確認すること。
- 忘れてしまった感覚をなげない日常の中でひとつひとつ気づくこと。
- 表現を通じてやりとりすること。

この展覧会で、「一人ひとりの『地図』」が、少しでも塗りかえられる

そんな小さな変化を期待します。

イベント企画

公開制作&似顔絵ワークショップ

今回の出展作家「柳田烈伸」と「久門裕子」が個々の制作スタイルで似顔絵を描きます。同時に参加者同士で壁面に似顔絵を描き合うワークショップも開催します。

2012年2月11日(土・祝) 公開制作 13:30~15:30
ワークショップ 14:00~17:00

- 会場: ギャラリー アトリエ
- 参加費: 無料
- ゲスト: 柳田 烈伸、久門 裕子

ギャラリートーク

今回の出展作家が、宮城での作品制作エピソードや現地での出会い/体験から制作への思いなどを話します。

2012年2月25日(土) 14:00~15:30

- 会場: ギャラリーアトリエ
- 参加費: 無料
- 話し手: 柳田 烈伸、久門 裕子、泉山 朗士、津田 三朗
- 聞き手: 樋口 龍二

クロストーク

昨年3月11日に起きた東日本大震災から、幾度も東北へ足を運んでいる方々を招き、被災地でのそれぞれの関わり方から、「人」や「場所」の役割について参加者のみなさんとディスカッションする場を設けます。

2012年3月2日(金) 19:00~21:00

- 会場: あじびホール(福岡アジア美術館8階)
- 参加費: 無料
- パネラー: 古賀 知夫(社会福祉法人 福岡ひかり福祉会 かしはらホーム 施設長)
田北 雅裕(九州大学大学院 人間環境学研究院 講師)
泉山 朗士

エイブル・アート事業について

財団法人福岡市文化芸術振興財団は、2004年にギャラリーのオープニングを飾る展覧会として「エイブル・アート～可能性の芸術」展を開催し、以来年々ごとにエイブル・アートのムーブメントを紹介する展覧会を開催してきました。当財団は「アートを通じて人と人をつなぐ」というミッションを持っていますが、エイブル・アートの数々の試みは、まさにそれがなければつなぐることのなかった人と人をつなぐ活動として、取り組んでいくべき事業だと考えています。また、多様性を許容する地域社会に向けて「違い」について思いをめぐらせるきっかけとなったり、「違い」は豊かさだと発見できるような機会を提供していくことを目指しています。福岡には福祉やアートの枠を飛び越えて、自分たちの暮らす街の状況に果敢に働きかける人たちがいて、それぞれおもしろい活動を行っています。展覧会やトークイベント、公演を通じてその活動を知ってもらい、彼ら同士、あるいは彼と見に来た人たちがつながる場を、これからも作っていきたいと思います。

お申し込み
お問い合わせ先

文化芸術情報館アトリエ <(財)福岡市文化芸術振興財団>

〒812-0027 福岡市博多区下川端3-1 博多リバレイン地下2階

TEL 092-281-0081 FAX 092-281-0114 E-mail plaza-a@ffac.or.jp

●エイブル・アート 2012

Life map